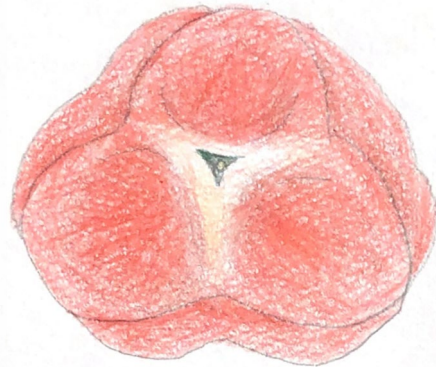
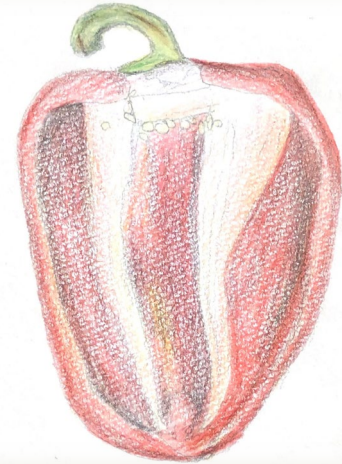


お気に入りの散歩道

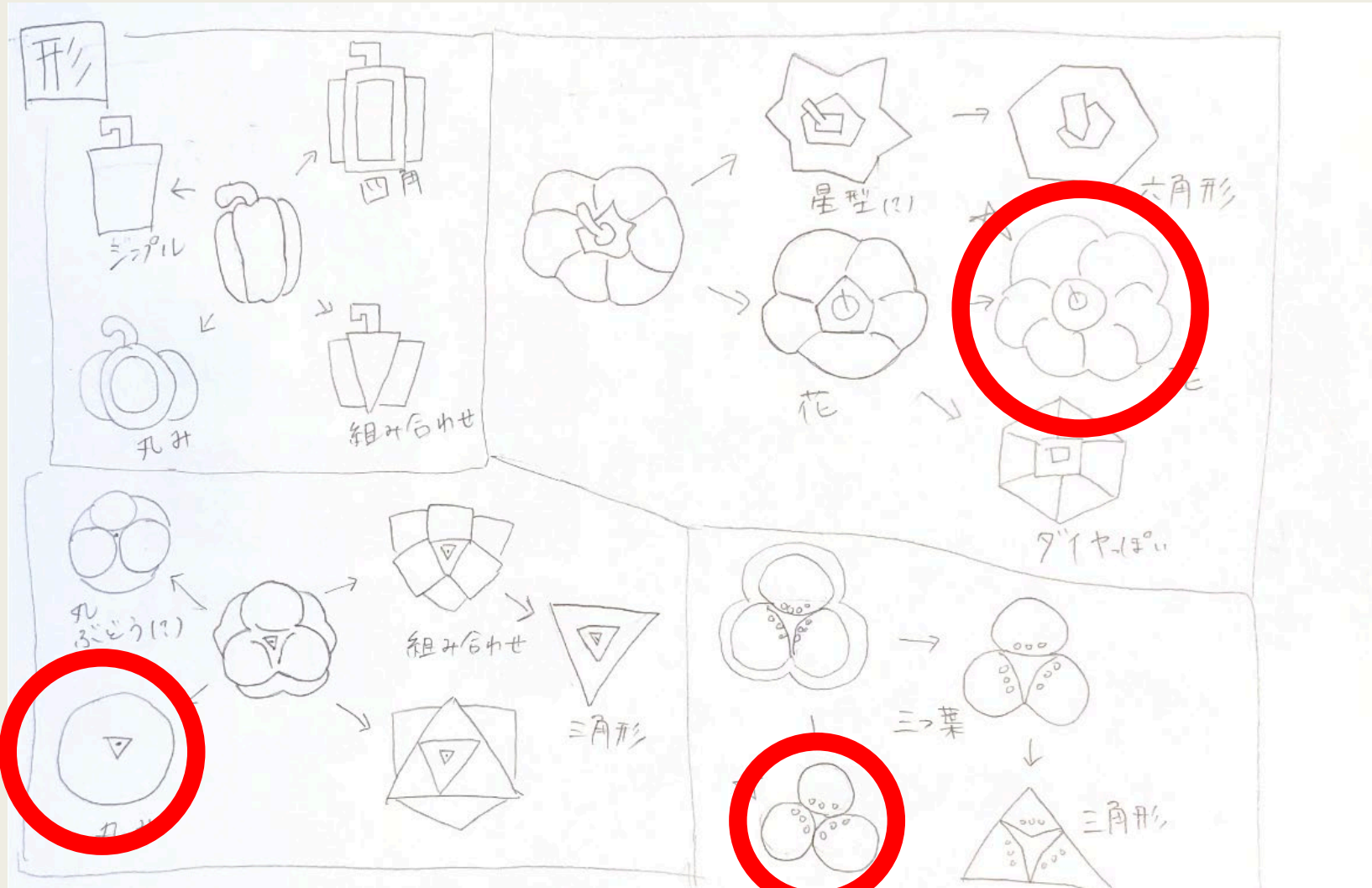
武庫川女子大学
生活環境学科
村上可奈



対象物のスケッチ（パプリカ）

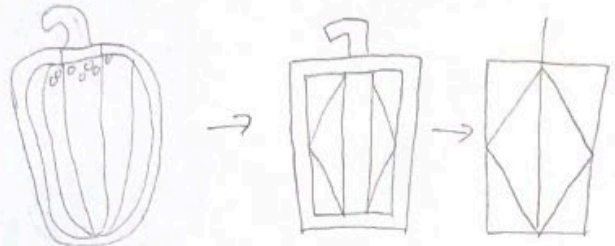


形の抽象化

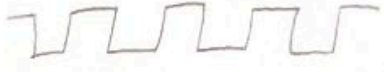



色の抽象化


形





質感


ゴ"ゴ"ニ → 


ツルツル → 

ツキツキ → 


☆ザラザラ → 

☆ネバネバ → 

フ"フ"フ → 

シャキシャキ → 

色



テーマ



- 真っ赤なパプリカが持つ断面の丸みが連続することによって通路のような空間を表現する
- 輪っかによってできる階段
- 通路と階段の二つの要素と、天井から差し込む光で、訪れる人が各々お気に入りの空間を見つけ、自由に散歩することができる



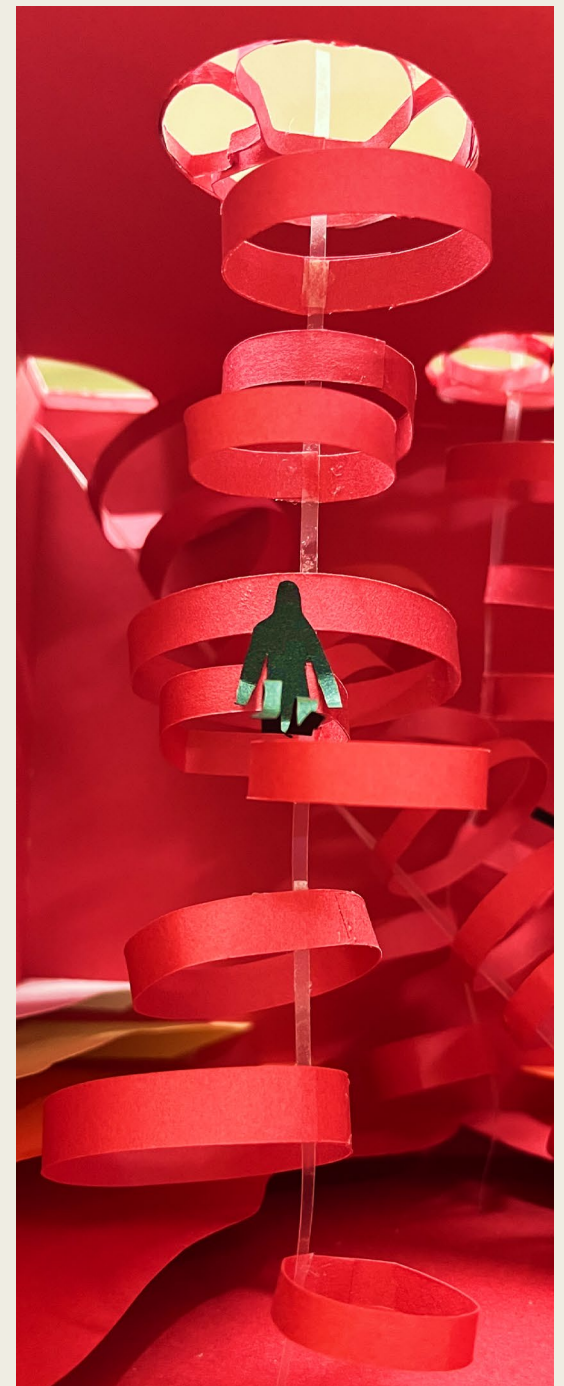
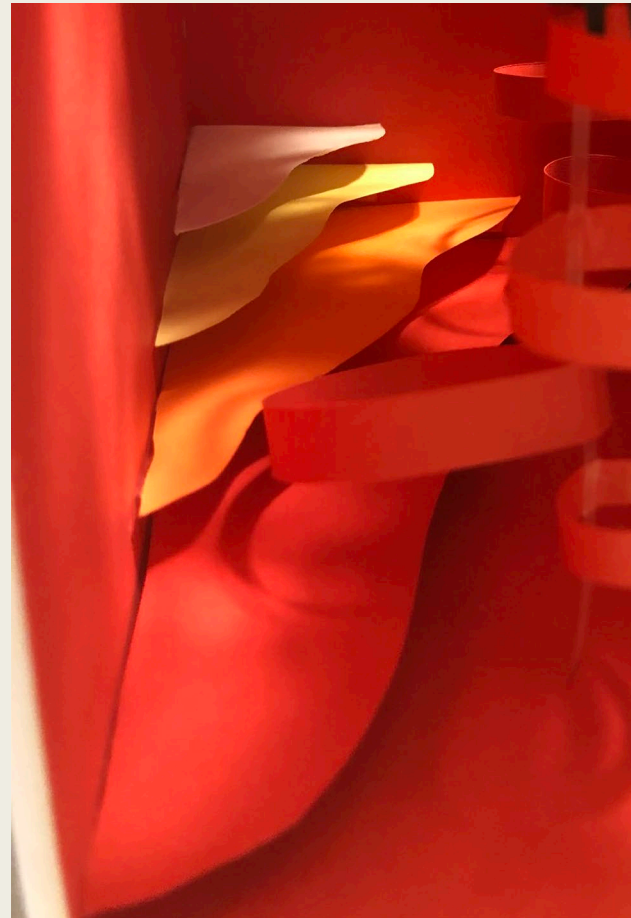
材料の加工・対比

加工：色画用紙を細く切って輪っかにし、
透明のクリアファイルで繋ぐことで
空間を通路のように見せる

形：真上から見ると丸みのある断面vs
正面から見ると縦横の直線

色：赤のグラデーション

質感：丸みのある凹凸感vs
輪っかの連続の粒々感

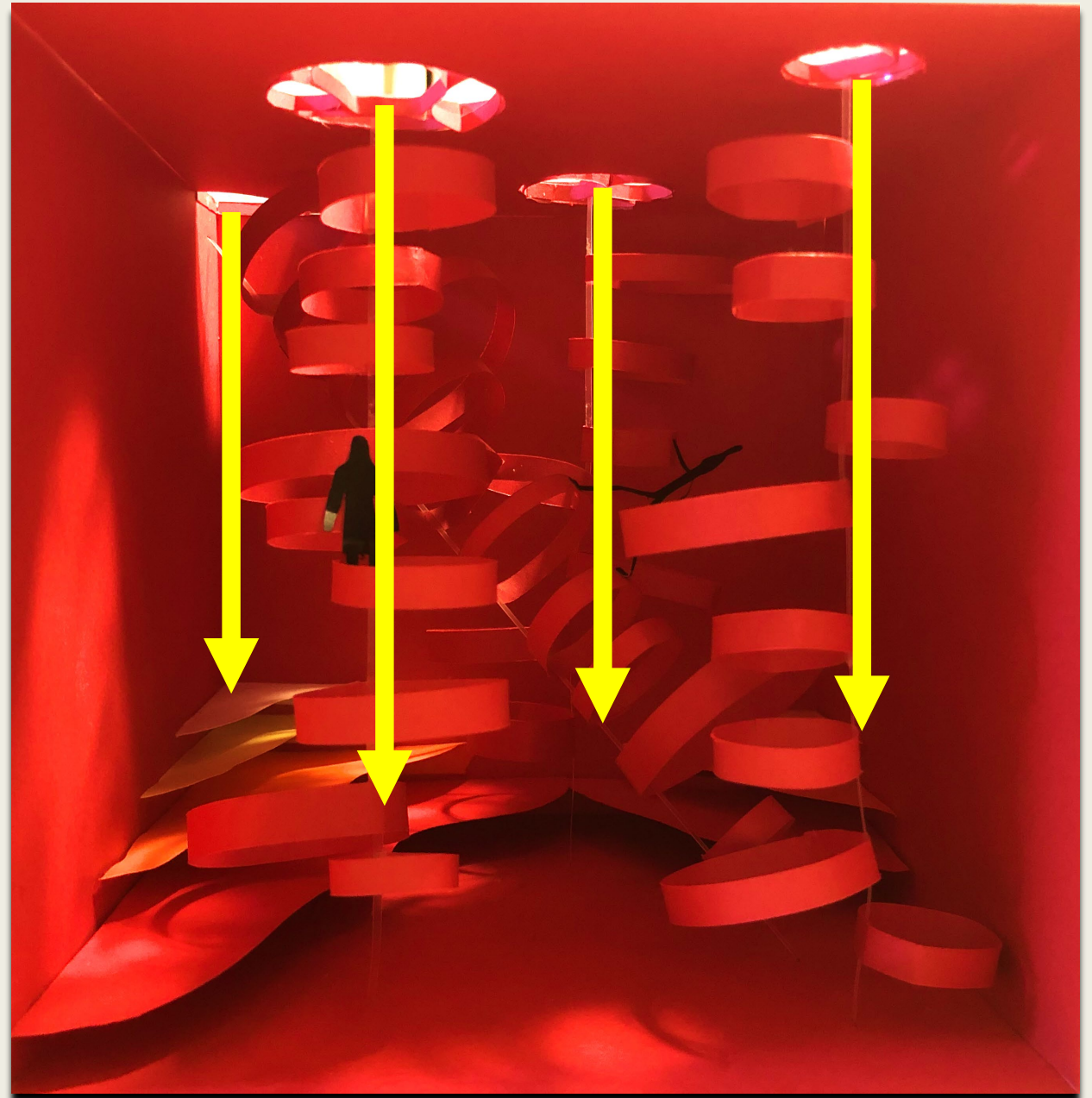


空間・光の流れ

連続する輪っかが作る通路

天井に開いた4つの穴

上へ行くほど明るくなる



人の動き・流れ

輪っかの連続の方向に沿って移動

斜め、上下の高低差のある輪っかの通路を自由に行き来すると同時に光の差し込みの変化も楽しむ

床面のグラデーションの部分は階段のように登る

